

GRAN NEXT

組入銘柄のご紹介

(2021年4月末時点)

2021年7月

GRAN NEXT エネルギー

GRAN NEXT テクノロジー

GRAN NEXT フード

GRAN NEXT ヘルスサイエンス

GRAN NEXT モビリティ

追加型投信／内外／株式

GRAN NEXT マネープールファンド

追加型投信／国内／債券

投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込みは

設定・運用は

三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

メガトレンドと投資テーマ

今後起こりうる社会の変化やイノベーションをメガトレンドとして捉え、これらに関連した長期間持続すると考えられる投資テーマを5つ選定しました。

メガトレンド 投資テーマ

	エネルギー	テクノロジー	フード	ヘルスサイエンス	モビリティ
イノベーションによる 社会・経済構造の変化					
高齢化と人口増加					
サステナビリティ*への フォーカス					
米中関係の変化、 アジアの台頭 ～漂う不透明感～					

・本資料は、ブラックロック・ジャパン(以下、ブラックロックという場合があります)の資料・コメントを基に作成しています。
・上記のメガトレンドは、ブラックロックグループが考える2021年4月 末時点のものであり、将来変更する可能性があります。
* 広く環境・社会・経済の3つの観点から世界を良い状態に保っていくという考え方のこと。

Fund lineup

ファンドラインアップ

メガトレンドに対応する5つの投資テーマをファンドとして設定しました。

運用は、ブラックロックの豊富なリソースを活用し、投資テーマ毎に経験豊富な運用チームが調査・分析を行います。一方で各運用チームは、各々が担当する投資対象企業の情報について横断的に連携し、ファンドのパフォーマンス向上を図ります。

・GRAN NEXT マネープールファンドも同時に設定しました。

GRAN NEXT



GRAN NEXT エネルギー
GRAN NEXT テクノロジー
GRAN NEXT フード
GRAN NEXT ヘルスサイエンス
GRAN NEXT モビリティ
GRAN NEXT マネープールファンド

※これらを総称して「ファンド」、各々を「各ファンド」という場合があります。また、各ファンドのページ内では当ファンドという場合があります。

CONTENTS

GRAN NEXT
エネルギー



詳細はP3～

GRAN NEXT
テクノロジー



詳細はP6～

GRAN NEXT
フード



詳細はP9～

GRAN NEXT
ヘルスサイエンス



詳細はP12～

GRAN NEXT
モビリティ



詳細はP15～

GRAN NEXT マネープールファンド 詳細はP18～

GRAN NEXTを構成するファンド間でのスイッチングが可能です。

販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングの取扱いを行わない場合があります。スイッチングを行う場合の購入時手数料は、販売会社が定めています。なお、スイッチングにより換金をする場合は、換金代金の利益に対して税金がかかります。くわしくは販売会社にご確認ください。



GRAN NEXT エネルギー

本テーマに関連して運用チームが注目するトピックスと、今後の市況見通し

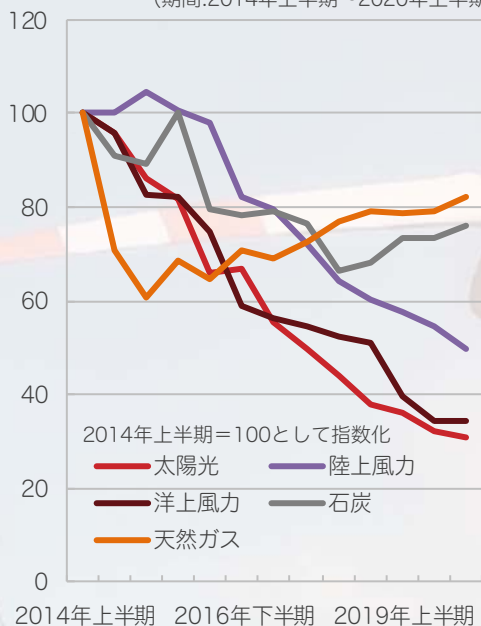
当ファンドは、日本を含む世界各国の持続可能なエネルギー関連企業の株式等に投資を行います。クリーンエネルギー※、エネルギー効率、クリーンな輸送手段などに注目しています。地球温暖化防止への取組みであるクリーンエネルギーは発電コスト低下や供給の安定化等に伴い、本格的な普及が見込まれています。消費面で注目しているのがエネルギー効率（省エネ）です。エネルギー効率の高い照明や電気自動車におけるエネルギー貯蔵ソリューションの開発などの発電コスト競争が高まっています。

今後の市況見通しとして、欧州グリーンディール(気候変動対策)、中国の再生可能エネルギーへの投資計画、米バイデン政権の環境政策など、世界各国では環境に配慮した景気刺激策が打ち出され、エネルギー関連企業にとって追い風になると期待しています。特に、電気自動車などのクリーンな輸送手段を開発する自動車業界にとって、欧州のCO₂排出規制の強化などを背景に、2021年は重要な転換期になると考えています。世界の主要自動車メーカーは、走行距離やデザインを大幅に向上させた新しい電気自動車モデルを続々と発表しています。

(出所) 2021年4月末時点のブラックロックの資料を基に三菱UFJ国際投信作成
※クリーンエネルギーとは、再生可能エネルギーとも呼ばれ、その大きな特徴は、「枯渇しない」「どこにでも存在する」「CO₂を排出しない(増加させない)」ことといわれています。
・上記は、ブラックロックグループが考える2021年4月末時点のエネルギーに関する注目分野や注目する背景の一例であり、当ファンドの主要投資対象のすべてを網羅するものではありません。また、環境の変化などにより将来変更する可能性があります。

発電コストの推移

(期間:2014年上半期~2020年上半期)



(出所) Bloomberg NEF、ブラックロックの資料を基に三菱UFJ国際投信作成

・発電コストには、施設建設費など初期費用、燃料費・保守管理費などのランニングコスト、解体・廃棄費用などが含まれます。
・計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。

実質的な投資を行う「ブラックロック・グローバル・ファンズ・サステナブル・エナジー・ファンド」の運用状況

組入上位10業種

業種	比率
1 自動車技術	21.7%
2 クリーンエネルギー	21.4%
3 建設・工業製品	19.5%
4 エネルギーの効率利用	12.6%
5 再生可能エネルギー技術	9.6%
6 エネルギー貯蔵とインフラ	6.0%
7 原材料	5.2%
8 システム・部品	2.5%
9 -	-
10 -	-

組入上位10銘柄

銘柄	国・地域	業種	比率
1 ネクステラ・エナジー	アメリカ	クリーンエネルギー	4.6%
2 エネル	イタリア	クリーンエネルギー	4.5%
3 シュナイダーエレクトリック	フランス	建設・工業製品	3.8%
4 インフィニオン・テクノロジーズ	ドイツ	自動車技術	3.5%
5 ヴェスタス・ウィンド・システムズ	デンマーク	再生可能エネルギー技術	3.5%
6 RWE	ドイツ	クリーンエネルギー	3.4%
7 マキシム・インテグレートッド・プロダクツ	アメリカ	自動車技術	3.1%
8 クアンタ・サービシーズ	アメリカ	エネルギー貯蔵とインフラ	2.8%
9 トレイン・テクノロジーズ	アイルランド	建設・工業製品	2.7%
10 ジョンソン・コントロールズ・インターナショナル	アメリカ	建設・工業製品	2.7%

(2021年4月末時点)

組入銘柄数: 49銘柄

・ブラックロック提供の資料(現地月末営業日基準)に基づき作成したものです。

・GRAN NEXT エネルギーは、「ブラックロック・グローバル・ファンズ・サステナブル・エナジー・ファンドクラスX2・円建て」を主要投資対象とします。

・比率は投資対象ファンドの純資産総額に対する割合です。・業種はブラックロックの運用チームによる分類であり、変更する場合があります。・国・地域はブラックロックの影響度合いは組入比率の通りとは限りません。・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・

【本資料に関してご留意いただきたい】

組入比率：3.5%

銘柄

インフィニオン・テクノロジーズ

国・地域

ドイツ

業種

自動車技術

銘柄の概要

半導体メーカー。電力半導体、マイクロコントローラー、セキュリティハードウェア、高周波製品およびセンサーなどの設計、製造、販売を手掛ける。自動車、工業、通信、一般消費者用およびセキュリティ電子産業分野に製品を販売。

投資のポイント

世界各国で自動車安全に対する意識が高まっていることを背景に、同社製品の需要が供給量を大幅に上回っているため、今後も生産能力拡大への投資を継続予定。

株価の推移

(ユーロ)



組入比率：3.1%

銘柄

マキシム・インテグレートッド・プロダクツ

国・地域

アメリカ

業種

自動車技術

銘柄の概要

半導体メーカー。半導体ICの設計・開発・製造・販売を手掛ける。主な製品は、スイッチング・レギュレーター、バッテリー管理、アンプ、データ変換器、フィルター、光学・メモリー製品。

投資のポイント

2020年に産業機器や音響向けの半導体で高いシェアを持つ米アナログ・デバイセズ社と経営統合し、更なる市場シェア拡大に努める。ネット販売商社の米マウザー・エレクトロニクス社が同社の製品の取扱いを増やしており、市場シェア拡大が期待される。

株価の推移

(米ドル)



組入比率：4.6%

銘柄

ネクステラ・エナジー

国・地域

アメリカ

業種

クリーンエネルギー

銘柄の概要

電力会社。再生可能エネルギー(風力、太陽光、天然ガス)の発電・販売を手掛ける。子会社を通じ、複数の商業用原子力発電所も運営。

投資のポイント

同社は近年急速に成長しているクリーンエネルギー市場において米国で高いシェアを誇っており、2020年は風力発電の約31%、太陽光発電の約12%のシェアを占める。近年のサステナビリティに対する関心の高まり、世界各国の政府の規制強化策等を踏まえると今後同社の中核ビジネスである再生可能エネルギーの需要は拡大すると予想している。

株価の推移

(米ドル)



組入比率：4.5%

銘柄

エネル

国・地域

イタリア

業種

クリーンエネルギー

銘柄の概要

電力会社。世界各地の企業・家庭のエンドユーザー向けに電力、ガス、再生可能エネルギーの生産や配電を手掛ける。欧州、北中南米、アフリカ、アジア、およびオセアニアで風力、太陽光、地熱、水力発電所を管理。

投資のポイント

同社は1999年の民営化以降、スペインの電力大手エンデサを買収し、欧州のエネルギー業界をけん引。

株価の推移

(ユーロ)



(出所) ブラックロックの資料、Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

・上記は2021年4月末現在における投資対象ファンドの組入上位3業種の組入上位2銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドおよび投資対象ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

ロックによる定義に基づいています。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・オプションなどのデリバティブが組み入れられる場合には、特定の銘柄の保証するものではありません。・市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。・為替・税金・手数料等を考慮していません。

【重要事項】の内容を必ずご覧ください。

組入比率：3.8%

銘柄

シュナイダーエレクトリック

国・地域

フランス

業種

建設・
工業製品

銘柄の概要

電力設備メーカー。主な製品は、自動車用充電設備、住宅用セキュリティ用品、スイッチ、アクセスコントロール、センサー、サーキットブレーカー、ケーブル、付属品、信号装置、ヒューズなど。

投資のポイント

2006年以降、年間約2兆円以上の売上を誇る。エネルギー問題に強い関心を持っており、サステナビリティを重要視し、省エネだけでなく環境に配慮した工場の設置や新興国への再生可能エネルギーの提供を積極的に行っている。

株価の推移

(ユーロ)



組入比率：2.7%

銘柄

トレイン・テクノロジーズ

国・地域

アイルランド

業種

建設・
工業製品

銘柄の概要

産業用機器メーカー。熱源機(ヒーティングシステム)、エアコン、空気清浄機、制御システムを手掛ける。

投資のポイント

新興国を中心とした人口増加に伴い、食品や飲料の輸送用冷凍・冷蔵装置の需要が増加。また、環境に配慮してエネルギー効率を高めた産業用冷蔵システムの需要が増加すれば、同社製品の売上げ増加が期待される。

株価の推移

(米ドル)



ご参考：その他業種の組入上位2銘柄のご紹介

業種	銘柄	国・地域	比率
エネルギーの効率利用	エア・リキード	フランス	2.6%
	リンデ	イギリス	2.6%
再生可能 エネルギー技術	ヴェスタス・ウィンド・システムズ	デンマーク	3.5%
	カナディアン・ソーラー	中国	1.7%
エネルギー貯蔵と インフラ	クアンタ・サービシズ	アメリカ	2.8%
	プリスミアン	イタリア	1.9%
原材料	ジョンソン・マッセイ	イギリス	1.3%
	ダーリン・イングレディエント	アメリカ	1.3%
システム・部品	TEコネクティビティ	スイス	2.2%
	SK IE テクノロジー	韓国	0.3%

(出所) ブラックロックの資料、Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

・上記は2021年4月末現在における投資対象ファンドの組入上位3業種の組入上位2銘柄とその他業種の組入上位2銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドおよび投資対象ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

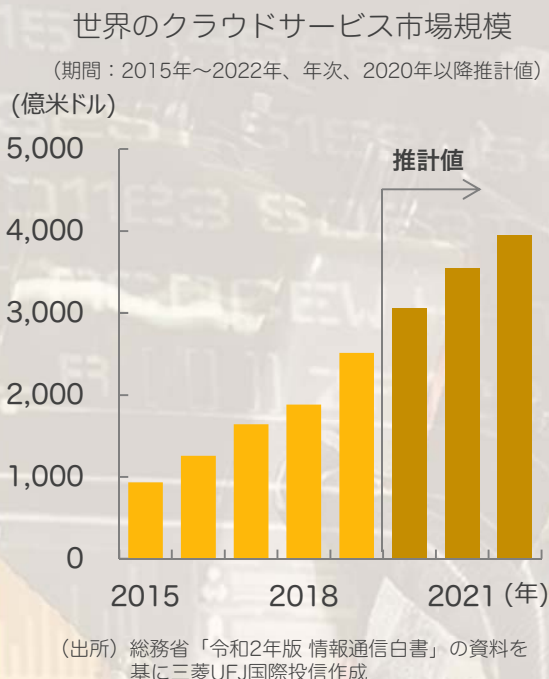
・比率は投資対象ファンドの純資産総額に対する割合です。・業種はブラックロックの運用チームによる分類であり、変更する場合があります。・国・地域はブラックロックの影響度合いは組入比率の通りとは限りません。・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・

【本資料に関してご留意いただきたい】



GRAN NEXT テクノロジー

本テーマに関連して運用チームが注目するトピックスと、今後の市況見通し



当ファンドは、日本を含む世界各国のテクノロジー関連企業の株式等に投資を行います。5G(第5世代移動通信システム)、AI(人工知能)、ロボティクス(ロボット工学)、IoT(モノのインターネット化)、クラウドなどの長期的な成長が期待される分野に注目しています。足下では、新型コロナウイルス(以下、新型コロナ)のワクチン接種拡大による景気回復の恩恵を受けることが期待される半導体関連銘柄を選好しています。

今後の市況見通しとして、金融政策の正常化に伴う金利上昇は一時的にテクノロジー関連企業にマイナスの影響を与える恐れがありますが、堅調なファンダメンタルズと長期的な成長期待がこれらの企業を下支えすると考えます。また、リモートワークの普及等によって、世界のクラウドサービス市場は拡大するとみられます。企業のビジネスプラットフォームのデジタル化によって、テクノロジーセクターの成長が期待されます。

(出所) 2021年4月末時点のブラックロックの資料を基に三菱UFJ国際投信作成

・上記は、ブラックロックグループが考える2021年4月末時点のテクノロジーに関する注目分野や注目する背景の一例であり、当ファンドの主要投資対象のすべてを網羅するものではありません。また、環境の変化などにより将来変更する可能性があります。

実質的な投資を行う「ブラックロック・グローバル・ファンズワールド・テクノロジー・ファンド」の運用状況

組入上位10業種

業種	比率
1 インターネット	24.2%
2 ソフトウェア	23.9%
3 半導体	17.9%
4 サービス	14.5%
5 ハードウェア	8.9%
6 コンテンツ・インフラ	3.6%
7 テクノロジーを活用した新産業	2.3%
8 -	-
9 -	-
10 -	-

組入上位10銘柄

銘柄	国・地域	業種	比率
1 アップル	アメリカ	ハードウェア	3.9%
2 マイクロソフト	アメリカ	ソフトウェア	3.6%
3 アルファベット	アメリカ	インターネット	2.3%
4 テスラ	アメリカ	ハードウェア	2.3%
5 アマゾン・ドット・コム	アメリカ	インターネット	2.2%
6 ASMLホールディング	オランダ	半導体	2.0%
7 ラムリサーチ	アメリカ	半導体	2.0%
8 カカオ	韓国	インターネット	2.0%
9 スクエア	アメリカ	サービス	1.8%
10 マーベル・テクノロジー	アメリカ	半導体	1.8%

・ブラックロック提供の資料（現地月末営業日基準）に基づき作成したものです。

・GRAN NEXT テクノロジーは、「ブラックロック・グローバル・ファンズワールド・テクノロジー・ファンドークラスI 2・円建て」を主要投資対象とします。

ロックによる定義に基づいています。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・オプションなどのデリバティブが組み入れられる場合には、特定の銘柄の保証するものではありません。・市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。・為替・税金・手数料等を考慮していません。

【重要な事項】の内容を必ずご覧ください。

組入比率：2.3%

銘柄

アルファベット

国・地域

アメリカ

業種

インターネット

銘柄の概要

Googleなどの子会社を通じ、ウェブベースの検索、広告、地図、ソフトウェア・アプリケーション、モバイルオペレーティングシステム、消費者コンテンツ、ハードウェア製品、クラウドサービスなどの提供を手掛ける。

投資のポイント

コロナ禍の外出自粛生活による動画配信サービス事業や、テレワークに伴うクラウドコンピューティング事業が急成長。ネット検索事業は、検索数の減少によるデジタル広告収入減少のため売上が減少したが、今後はワクチン接種拡大による経済活動の再開に伴い、売上増加が期待される。

株価の推移

(米ドル)



組入比率：2.2%

銘柄

アマゾン・ドット・コム

国・地域

アメリカ

業種

インターネット

銘柄の概要

オンライン小売会社。書籍、音楽、コンピューター、電子機器、その他多数の製品とサービスを提供。顧客別にカスタマイズされたショッピングサービス、ウェブ上でのクレジットカード決済、および顧客への直接配送を行う。クラウドプラットフォーム・サービスも提供。

投資のポイント

確立されたECブランドを柱とし、消費者体験に関する様々な分野への参入など収益源が多様化。ネットと実店舗の融合の推進や、オンライン薬局などのヘルスケア分野、自動運転技術開発への参入など、買収による成長が加速している。

株価の推移

(米ドル)



組入比率：3.6%

銘柄

マイクロソフト

国・地域

アメリカ

業種

ソフトウェア

銘柄の概要

ソフトウェアメーカー。ソフトウェア製品の開発、製造、ライセンス供与、販売、サポート、テレビゲーム機・デジタル音楽・娯楽用機器の開発を手掛ける。

投資のポイント

テクノロジー業界を牽引する同社は、ソフトウェア事業からクラウドビジネスに移行している。製造業におけるデジタルトランスフォーメーションの拡大、リモートワークの普及、データ分析・クラウドサービスに対する需要の高まりが、同社の収益拡大に寄与することが期待される。

株価の推移

(米ドル)



組入比率：1.5%

銘柄

トゥイリオ

国・地域

アメリカ

業種

ソフトウェア

銘柄の概要

アプリケーションソフトウェア会社。インターネットインフラソリューションの開発・提供を手掛ける。ウェブ開発者向けに、音声通信およびテキストメッセージをウェブ、モバイル、電話アプリに統合。クラウド・コミュニケーション・プラットフォームを提供。

投資のポイント

同社のWebサービスAPIを多くの開発者が活用。顧客データの統合・活用を行うプラットフォームを提供するセグメント社を2020年11月に買収し、更なる事業拡大による収益増加が期待される。

株価の推移

(米ドル)



・上記は2021年4月末現在における投資対象ファンドの組入上位3業種の組入上位2銘柄とその他業種の組入上位2銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄

・比率は投資対象ファンドの純資産総額に対する割合です。・業種はブラックロックの運用チームによる分類であり、変更する場合があります。・国・地域はブラック
影響度合いは組入比率の通りとは限りません。・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・

【本資料に関してご留意いただきたい

組入比率：2.0%

銘柄

ASMLホールディング

国・地域

オランダ

業種

半導体

銘柄の概要

半導体製造装置メーカー。特にリソグラフィーによるチップ製造向け機械の開発・製造・販売を手掛ける。

投資のポイント

5GやAIなどの最新技術に対応するために米アップルや米テスラなどが半導体プロセッサの自社開発を進めており、同社の半導体製造装置へのニーズが高まっている。また、廃棄物の削減などサステナビリティへ積極的に取り組む。2021年第1四半期の純利益が予想を上回り、世界的な需要の高まり等を理由に2021年の売上高予想を4月に引き上げた。

株価の推移

(ユーロ)



組入比率：2.0%

銘柄

ラムリサーチ

国・地域

アメリカ

業種

半導体

銘柄の概要

IC製造用の半導体処理装置メーカー。アフターサービスも手掛ける。シリコンウエハー上に付着させた特殊フィルムの一部をエッチングして回路を設計するために使われる製品を取り扱っている。

投資のポイント

半導体メモリ(電子データを格納するチップ部品)の売上比率が高い傾向にあり、半導体設備投資が増加すると半導体メモリの売上げにプラス寄与。近年の半導体の需要増加により、今後半導体メーカーの設備投資が増加することが見込まれ、同社の売上げが増加することが期待される。

株価の推移

(米ドル)



ご参考：その他業種の組入上位2銘柄のご紹介

業種	銘柄	国・地域	比率
サービス	スクエア	アメリカ	1.8%
	ペイパル・ホールディングス	アメリカ	1.7%
ハードウェア	アップル	アメリカ	3.9%
	テスラ	アメリカ	2.3%
コンテンツ・インフラ	網易	中国	0.9%
	アクティビジョン・ブリザード	アメリカ	0.9%
テクノロジーを活用した新産業	チェグ	アメリカ	1.0%
	JD ヘルス インターナショナル	中国	0.7%

(出所) ブラックロックの資料、Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

の推奨を目的とするものではなく、当ファンドおよび投資対象ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

ロックによる定義に基づいています。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・オプションなどのデリバティブが組み入れられる場合には、特定の銘柄の保証するものではありません。・市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。・為替・税金・手数料等を考慮していません。

【重要事項】の内容を必ずご覧ください。



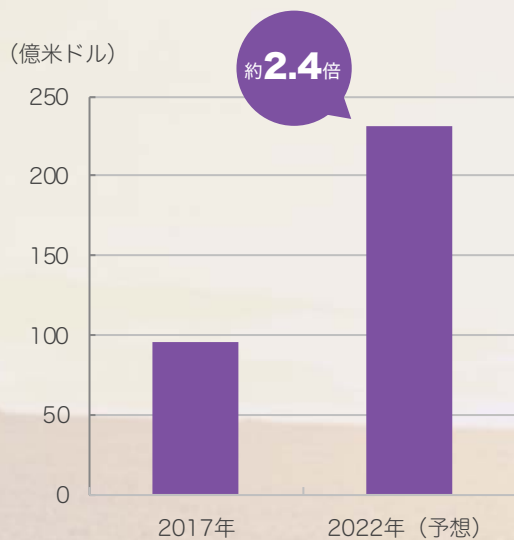
GRAN NEXT フード

本テーマに関連して運用チームが注目するトピックスと、今後の市況見通し

当ファンドは、日本を含む世界各国の食品・農業関連企業の株式等に投資を行います。生産方法、食生活、購入方法の変化に注目しています。

世界のスマート農業の市場規模

(2017年時点)



(出所) statistaのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

今後の市況見通しとして、食料需要の高まり、嗜好やライフスタイルの変化などを背景に、食に関するイノベーションが期待されます。例えば、食の多様性や生産環境への配慮が求められるなかで、代替タンパク質が注目され、商品開発を行っている企業もでてきています。また、外出することなく食事を受け取れるオンラインフードデリバリーの普及に加えて、新型コロナ感染拡大以降は、食料品やミールキットのデリバリーが私たちの生活に急速に浸透しつつありますが、これらが定着することを見込んでいます。生産方法の変化においては、農業の自動化・効率化(スマート農業)がテーマになります。スマート農業により、増大する食料需要に対して効率化・高品質生産等を実現することが期待され、食品・農業関連企業の成長の機会を生み出していくと考えています。

(出所) 2021年4月末時点のブラックロックの資料を基に三菱UFJ国際投信作成

・上記は、ブラックロックグループが考える2021年4月末時点のフードに関する注目分野や注目する背景の一例であり、当ファンドの主要投資対象のすべてを網羅するものではありません。また、環境の変化などにより将来変更する可能性があります。

実質的な投資を行う「ブラックロック・グローバル・ファンズ・ニュートリション・ファンド」の運用状況

組入上位10業種

業種	比率
1 原材料	13.5%
2 フードテクノロジー	12.5%
3 機械類	9.9%
4 ダイエット・健康	8.3%
5 肥料	6.8%
6 小売り・流通業	5.6%
7 食品小売業	5.5%
8 食品販売業	5.0%
9 パッケージング	4.8%
10 代替タンパク質	4.5%

組入上位10銘柄

(2021年4月末時点)				
組入銘柄数: 44銘柄				
銘柄	国・地域	業種	比率	
1 ディア	アメリカ	機械類	4.5%	
2 FMC	アメリカ	農薬	4.5%	
3 コーニンクレッタDSM	オランダ	原材料	4.0%	
4 ジャミーソン・ウェルネス	カナダ	ダイエット・健康	3.6%	
5 ケリー・グループ	アイルランド	原材料	3.5%	
6 CFインダストリーズ・ホールディングス	アメリカ	肥料	3.5%	
7 シムライズ	ドイツ	原材料	3.4%	
8 ニュートリエン	カナダ	肥料	3.3%	
9 グローサリー・アウトレット・ホールディング	アメリカ	食品小売業	3.2%	
10 ベルリング・ブランドズ	アメリカ	ダイエット・健康	3.0%	

・ブラックロック提供の資料（現地月末営業日基準）に基づき作成したものです。

・GRAN NEXT フードは、「ブラックロック・グローバル・ファンズ・ニュートリション・ファンドークラスI 2・円建て」を主要投資対象とします。

・比率は投資対象ファンドの純資産総額に対する割合です。・業種はブラックロックの運用チームによる分類であり、変更する場合があります。・国・地域はブラック影響度合いは組入比率の通りとは限りません。・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・

【本資料に関してご留意いただきたい

組入比率：4.0%

銘柄

コーニンクレッカDSM

国・地域

オランダ

業種

原材料

銘柄の概要

ライフサイエンス・素材科学会社。食品・栄養補助食品、パーソナルケア、飼料、医薬品、医療機器、自動車、塗料、電気・電子製品、ライフプロテクション、代替エネルギー、バイオ素材などの分野向けに製品を提供。

投資のポイント

食に関する事業分野の新商品の研究・開発に注力。植物由来の魚代替食品など代替タンパク質の開発も手掛ける。また、乳牛から排出されるメタンガスを減少させる飼料添加物の開発など、ESGに関する取り組みにも積極的。

株価の推移

(ユーロ)



組入比率：3.5%

銘柄

ケリー・グループ

国・地域

アイルランド

業種

原材料

銘柄の概要

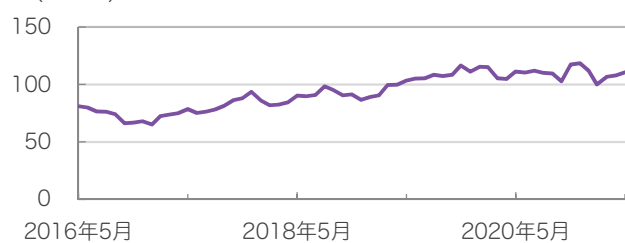
国際的な大手食品会社。食品、飲料、医薬品業界向けに革新的な香味料や栄養剤、機能成分を開発、生産、供給を手掛ける。

投資のポイント

オンラインや配達による飲料やスナック、ミールキットの需要は増加傾向にあり、業績は堅調。アメリカが売上げの過半を占めているが、近年は中国など他の地域への展開が奏功。肉や乳製品などの植物由来の代替タンパク質商品を数多く展開しており、同社の成長の柱の1つとなっている。また、M&Aにも積極的な姿勢を示す。

株価の推移

(ユーロ)



組入比率：2.5%

銘柄

ハローフレッシュ

国・地域

ドイツ

業種

フード
テクノロジー

銘柄の概要

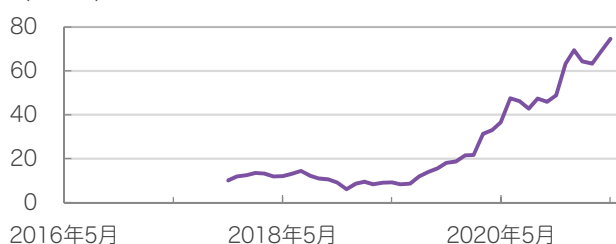
オンラインフードサービス会社。顧客がレシピと食事のアイデアを毎週受け取れるミールキットの配達サービスのほか、保冷剤、プラスチック包装、食肉包装、断熱材、およびその他の関連製品の製造を手掛ける。

投資のポイント

コロナ禍以降、同社の業績は急拡大している。米国における収益割合が大きい、他の地域も拡大傾向。新規顧客の獲得と既存顧客の注文金額増加を今後も継続できるかがカギ。

株価の推移

(ユーロ)



組入比率：2.0%

銘柄

レーベン・インダストリーズ

国・地域

アメリカ

業種

フード
テクノロジー

銘柄の概要

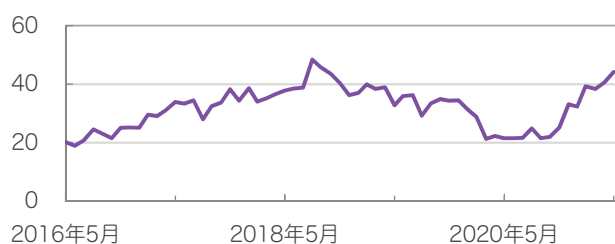
情報ツールメーカー。精密農業製品およびGPS・農地コンピューター・補助操縦システム・その他農地管理技術、産業用高性能プラスチックフィルムおよびシートの提供を手掛ける。

投資のポイント

遠隔操作による、農地の耕作から種まき、水まき、除草、収穫の一連の作業が可能となるRaven Autonomyという機械の製造がコア事業の1つ。食糧需要の増加を背景とした、農地の生産性向上が求められるなか、業績は底堅く推移し、研究開発やM&Aなど事業成長への投資に積極的。

株価の推移

(米ドル)



(出所) ブラックロックの資料、Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

・上記は2021年4月末現在における投資対象ファンドの組入上位3業種の組入上位2銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドおよび投資対象ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

ロックによる定義に基づいています。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・オプションなどのデリバティブが組み入れられる場合には、特定の銘柄の保証するものではありません。・市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。・為替・税金・手数料等を考慮していません。

【重要な事項】の内容を必ずご覧ください。

組入比率：**4.5%**

銘柄	ディア		
国・地域	アメリカ	業種	機械類

銘柄の概要

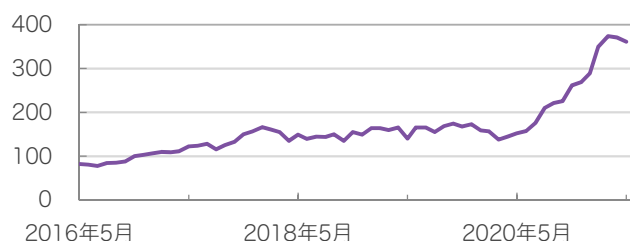
農業具メーカー。農業、建設・林業、商業、消費者を対象に各種機械の製造・販売を手掛ける。また、自社製品および他社製品の交換部品の供給や製品・部品を対象とするファイナンス・サービスも手掛ける。

投資のポイント

世界最大級の農業具メーカーで、農作物の栽培効率化にフォーカスした農機を数多く卸す。新興ロボット企業を買収し、機械学習で雑草だけに除草剤をまくロボットを開発するなど、新技術の獲得に注力。売上げに対する研究開発費の比率は増加傾向であり、株主還元にも積極的な姿勢を示す。

株価の推移

(米ドル)



組入比率：**2.7%**

銘柄	マレル		
国・地域	アイスランド	業種	機械類

銘柄の概要

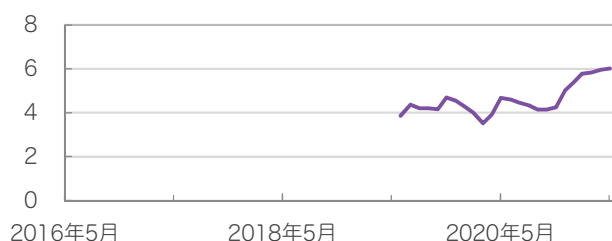
食品加工機械メーカー。魚および肉の加工業界に機械を提供する。

投資のポイント

魚・肉などの食品自動処理システムが同社のコアビジネス。収益の過半は欧州地域だが、アジア・オセアニア地域での販売、サービス強化のために2021年に上海にオフィスを設置するなど、アジア市場を中心に拡大し、業績は堅調。粗利益率40%を中期目標として据え、更なる業績向上に努める。

株価の推移

(ユーロ)



ご参考：その他業種*の組入上位2銘柄のご紹介

業種	銘柄	国・地域	比率
ダイエット・健康	ジャミーソン・ウェルネス	カナダ	3.6%
	ベルリング・ブランドズ	アメリカ	3.0%
肥料	CFインダストリーズ・ホールディングス	アメリカ	3.5%
	ニュートリエン	カナダ	3.3%
小売り・流通業	ブンゲ	アメリカ	2.9%
	トラクター・サプライ	アメリカ	2.7%
食品小売業	グローサリー・アウトレット・ホールディング	アメリカ	3.2%
	コストコホールセール	アメリカ	2.3%
食品販売業	トータル・プロデュース	アイスランド	3.0%
	キャラボ・グロワーズ	アメリカ	2.0%
パッケージング	コルビオン	オランダ	2.7%
	ウエストロック	アメリカ	2.0%
代替タンパク質	メープルリーフフーズ	カナダ	2.5%
	ナチュラル・オーダー・アクイジション	アメリカ	1.2%

*組入上位10業種までを掲載しています。

(出所) ブラックロックの資料、Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

・上記は2021年4月末現在における投資対象ファンドの組入上位3業種の組入上位2銘柄とその他業種の組入上位2銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドおよび投資対象ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

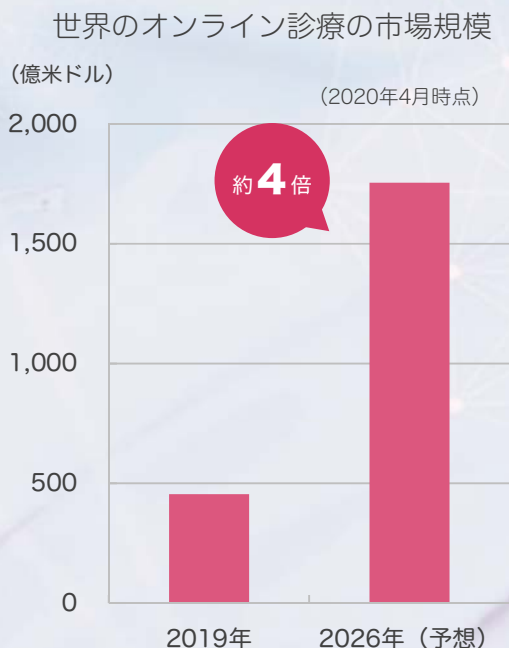
・比率は投資対象ファンドの純資産総額に対する割合です。・業種はブラックロックの運用チームによる分類であり、変更する場合があります。・国・地域はブラックロックの影響力は組入比率の通りとは限りません。・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・

【本資料に関してご留意いただきました

GRAN NEXT ヘルスサイエンス

本テーマに関連して運用チームが注目するトピックスと、今後の市況見通し

当ファンドは、日本を含む世界各国のヘルスサイエンス関連企業の株式等に投資を行います。医療機器・用品の技術進化、新薬の開発、医療のデジタル化に注目しています。



(出所) statistaのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

・ オンライン診療とは、通信サービスを通じた診療、医療情報の提供等をいいます。

今後の市況見通しとして、新型コロナ感染拡大以降は、テクノロジーを活用した医療サービスの需要が拡大しており、オンライン診療は今後の成長が見込まれています。また、新型コロナのワクチン接種が進み、医療体制が正常化に向かい、中止や延期されてきた手術が再開すると見込んでいます。手術ができなかった期間と比較して医療機器メーカーが恩恵を受けることが期待されます。一方、米バイデン政権におけるヘルスケア業界に関係する法制変更は大きく影響しないと考えます。メディケア・メディケイド政策※に対する米トランプ前大統領の取り組みの撤回や、アフォダブル・ケア法の適用範囲をサポートする新たな施策は、いずれもヘルスサイエンス関連企業にとって支援材料です。薬価引き下げは医薬品業界にとって懸念材料ですが、影響は限定的と考えられます。

(出所) 2021年4月末時点のブラックロックの資料を基に三菱UFJ国際投信作成

※高齢者等の医療を保障するメディケア、低所得者に医療扶助を行うメディケイドといった公的医療保障制度

・ 上記は、ブラックロックグループが考える2021年4月末時点のヘルスサイエンスに関する注目分野や注目する背景の一例であり、当ファンドの主要投資対象のすべてを網羅するものではありません。また、環境の変化などにより将来変更する可能性があります。

実質的な投資を行う「ブラックロック・グローバル・ファンズワールド・ヘルスサイエンス・ファンド」の運用状況

組入上位10業種

業種	比率
1 医療機器・用品	36.8%
2 医薬品	27.5%
3 医療	17.0%
4 バイオテクノロジー開発	13.4%
5 その他	1.1%
6 -	-
7 -	-
8 -	-
9 -	-
10 -	-

組入上位10銘柄

(2021年4月末時点)
組入銘柄数: 138銘柄

銘柄	国・地域	業種	比率
1 ユナイテッドヘルス・グループ	アメリカ	医療	5.4%
2 アボットラボラトリーズ	アメリカ	医療機器・用品	4.8%
3 サノフィ	フランス	医薬品	3.6%
4 ジョンソン・エンド・ジョンソン	アメリカ	医薬品	3.3%
5 メトロニック	アメリカ	医療機器・用品	3.2%
6 ファイザー	アメリカ	医薬品	2.9%
7 ロシュ・ホールディング	スイス	医薬品	2.7%
8 ボストン・サイエンティフィック	アメリカ	医療機器・用品	2.6%
9 サーモフィッシャーサイエンティフィック	アメリカ	医療機器・用品	2.6%
10 イーライリリー	アメリカ	医薬品	2.4%

・ ブラックロック提供の資料（現地月末営業日基準）に基づき作成したものです。

・ GRAN NEXT ヘルスサイエンスは、「ブラックロック・グローバル・ファンズワールド・ヘルスサイエンス・ファンドークラスI 2・円建て」を主要投資対象とします。

ロックによる定義に基づいています。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・オプションなどのデリバティブが組み入れられる場合には、特定の銘柄の保証するものではありません。・市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。・為替・税金・手数料等を考慮していません。

【重要な事項】の内容を必ずご覧ください。

組入比率：4.8%

銘柄

アボットラボラトリーズ

国・地域

アメリカ

業種

医療機器・用品

銘柄の概要

ヘルスケア機器メーカー。多様な製品の研究、開発、製造、販売およびサービスを幅広く手掛ける。製品は、医薬品、診断用製品、医療機器、栄養食品など。関連会社と販売代理店を通じて製品を販売。

投資のポイント

新型コロナの検査関連の売上げを中心に堅調で、直近の業績は増収。診断薬・機器事業は底堅く推移しており、引き続きこのトレンドが続くと期待される。新たな遠隔診療サービスを米国で展開しており、こちらも注目。

株価の推移

(米ドル)



組入比率：3.2%

銘柄

メドトロニック

国・地域

アメリカ

業種

医療機器・用品

銘柄の概要

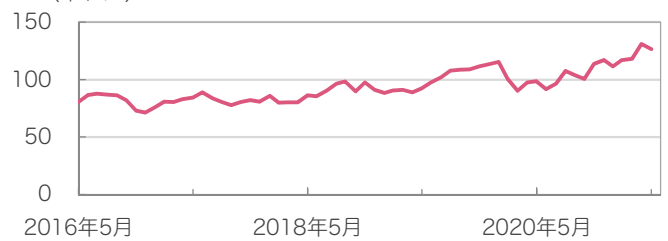
医療診断および治療器具メーカー。徐脈、頻拍性不整脈、心房細動、心不全などの管理、70以上の疾患に対する治療器具を提供。

投資のポイント

新型コロナ感染拡大以降は人工呼吸器の生産を大幅に増加させ、引き続き新型コロナの影響を受けて同社製品に対する需要は続くと予想。

株価の推移

(米ドル)



組入比率：3.6%

銘柄

サノフィ

国・地域

フランス

業種

医薬品

銘柄の概要

製薬会社。処方薬およびワクチンの製造を手掛ける。循環器疾患、血栓症、代謝性疾患、中枢神経障害、および腫瘍などを治療する医薬品を開発。

投資のポイント

アトピー性皮膚炎および喘息治療薬のデュピクセントの売上げが好調。新型コロナのワクチン開発で遅れをとっているが、自社工場での他社の新型コロナのワクチン生産・供給を進めていると同時に、英国のグラクソ・スミスクラインと協働で変異株に対するワクチン開発に注力している。

株価の推移

(ユーロ)



組入比率：3.3%

銘柄

ジョンソン・エンド・ジョンソン

国・地域

アメリカ

業種

医薬品

銘柄の概要

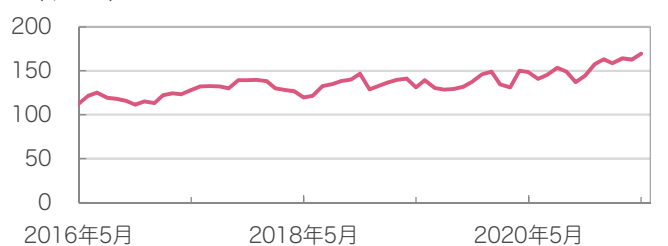
ヘルスケア製品メーカー。ヘルスケア製品を製造し、医薬品、医療機器・診断市場に製品とサービスを提供。主な製品は、スキンケア・ヘアケア製品、アセトアミノフェン製品、医薬品、診断機器、手術用機器など。ベビー製品も製造。

投資のポイント

新型コロナ感染拡大以降、洗口液製品の需要増加を背景に、同社製品のリステリンがシェアを拡大。また、オンラインでの売上げが好調で、対面販売の落ち込みをカバーしている。ガン治療薬や免疫治療薬などが中心となり、同社の業績を牽引している。

株価の推移

(米ドル)



・上記は2021年4月末現在における投資対象ファンドの組入上位3業種の組入上位2銘柄とその他業種の組入上位2銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄

・比率は投資対象ファンドの純資産総額に対する割合です。・業種はブラックロックの運用チームによる分類であり、変更する場合があります。・国・地域はブラックロックの影響度合いは組入比率の通りとは限りません。・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・

【本資料に関してご留意いただきたい

組入比率：5.4%

銘柄

ユナイテッドヘルス・グループ

国・地域

アメリカ

業種

医療

銘柄の概要

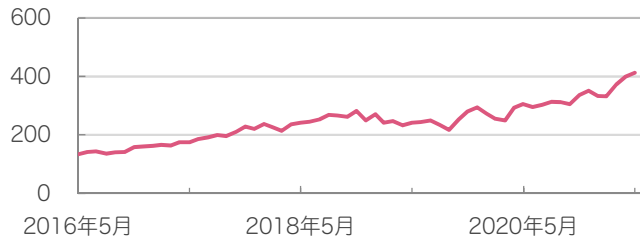
管理医療会社。管理医療システムの保有、運営を手掛ける。雇用主に対し、従業員福利厚生プログラムを立案・管理する製品およびリソースを提供。

投資のポイント

米大手の医療保険企業で、堅調な業績拡大を続けている。同社が運営するオプタムは、ITを活用した医療データ分析などのサービスを提供している。近年では、デジタルヘルス領域の新興企業を買収するなど、テクノロジーを活用した医療サービス分野に注力。

株価の推移

(米ドル)



組入比率：2.2%

銘柄

シグナ

国・地域

アメリカ

業種

医療

銘柄の概要

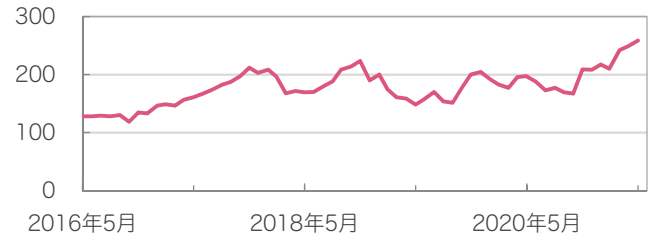
保険会社。生命保険、傷害保険、身体障害保険、補完保険、医療保険、歯科保険の各商品およびサービスを提供。

投資のポイント

在宅での遠隔医療サービスなどの拡充を進めており、同社の主要事業とのシナジーが期待される。また、中東やオーストラリアでの販路拡大を目指しており、米国外での収益基盤を構築できるかが成長戦略において重要となる。

株価の推移

(米ドル)



ご参考：その他業種の組入上位2銘柄のご紹介

業種	銘柄	国・地域	比率
バイオテクノロジー開発	アムジェン	アメリカ	2.1%
	ギリアド・サイエンシズ	アメリカ	2.1%
その他	JD ヘルス インターナショナル	中国	0.7%
	HAAC	アメリカ	0.1%

(出所) ブラックロックの資料、Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

の推奨を目的とするものではなく、当ファンドおよび投資対象ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

ロックによる定義に基づいています。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・オプションなどのデリバティブが組み入れられる場合には、特定の銘柄の保証するものではありません。・市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。・為替・税金・手数料等を考慮していません。

【重要事項】の内容を必ずご覧ください。



GRAN NEXT モビリティ

本テーマに関連して運用チームが注目するトピックスと、今後の市況見通し

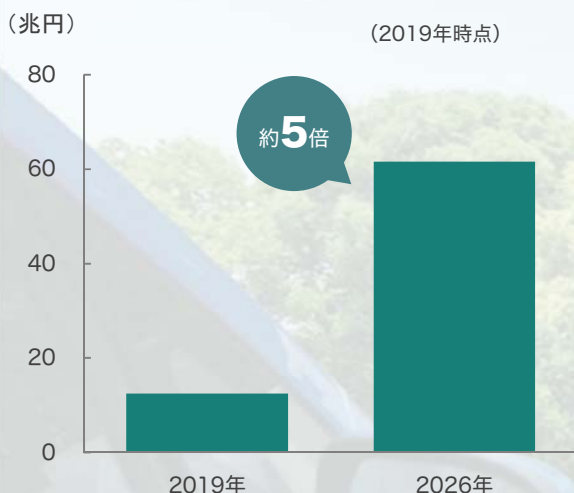
当ファンドは、日本を含む世界各国の輸送関連企業の株式等に投資を行います。各国がカーボンニュートラルを目指す政策を掲げる中、ガソリン車から電気自動車へシフトする動きが活発化し、自動車メーカーは電気自動車を製品ラインナップの中心にする事業改革を行っています。また、様々なIT企業が独自の技術を背景に、自動運転、コネクティッドカー、シェアリングサービス、自動車販売のデジタル化などへの参入機会を探っています。一方、当ファンドでは、自動車の他にレアメタル採掘などの天然資源、充電設備などのインフラなど周辺分野においても幅広い分野の企業の分析を行っています。

今後の市況見通しとして、電気自動車以外にも自動運転、インターネット接続などを活用した様々な研究開発が行われており、ドローンや電動飛行機など様々な次世代輸送手段がモビリティの世界で生み出されていくでしょう。

(出所) 2021年4月末時点のブラックロックの資料を基に三菱UFJ国際投信作成

・上記は、ブラックロックグループが考える2021年4月末時点のモビリティに関する注目分野や注目する背景の一例であり、当ファンドの主要投資対象のすべてを網羅するものではありません。また、環境の変化などにより将来変更する可能性があります。

世界のEV(電気自動車)市場規模予想



2019年

2026年

(出所) statista、Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

・上記予想は推計値、為替は1米ドル=108.61円(2019年12月31日)で換算。

実質的な投資を行う「ブラックロック・グローバル・ファンズ・フューチャー・オブ・トランスポート・ファンド」の運用状況

組入上位10業種

業種	比率
1 システム・部品	41.9%
2 テクノロジー	38.5%
3 原材料	13.8%
4 インフラ	2.7%
5 その他	0.0%
6 -	-
7 -	-
8 -	-
9 -	-
10 -	-

組入上位10銘柄

(2021年4月末時点)

組入銘柄数: 48銘柄

銘柄	国・地域	業種	比率
1 インフィニオン・テクノロジーズ	ドイツ	テクノロジー	3.8%
2 LG化学	韓国	システム・部品	3.8%
3 TEコネクティビティ	スイス	システム・部品	3.6%
4 アプティブ	アメリカ	システム・部品	3.6%
5 ダッソー・システムズ	フランス	テクノロジー	3.6%
6 トリンブル	アメリカ	テクノロジー	3.6%
7 アンシス	アメリカ	テクノロジー	3.6%
8 シュナイダーエレクトリック	フランス	システム・部品	3.5%
9 ジーリー・オートモービル・ホールディングス	中国	システム・部品	3.5%
10 サムスンSDI	韓国	システム・部品	3.4%

・ブラックロック提供の資料（現地月末営業日基準）に基づき作成したものです。

・GRAN NEXT モビリティは、「ブラックロック・グローバル・ファンズ・フューチャー・オブ・トランスポート・ファンドークラス12・円建て」を主要投資対象とします。

・比率は投資対象ファンドの純資産総額に対する割合です。・業種はブラックロックの運用チームによる分類であり、変更する場合があります。・国・地域はブラック影響度合いは組入比率の通りとは限りません。・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・

【本資料に関してご留意いただきたい】

組入比率：3.8%

銘柄

LG化学

国・地域

韓国

業種

システム・部品

銘柄の概要

石油化学会社。石油化学製品やプラスチック樹脂、エンジニアリングプラスチック、工業原料、電子材料などの製造を手掛ける。

投資のポイント

欧米および韓国国内の自動車メーカーにリチウムイオン電池を提供し、車載用リチウムイオン電池では2020年第1四半期に世界トップシェアを誇る。米ゼネラル・モーターズ(GM)との合併会社の設立など電気自動車普及によるリチウムイオン電池需要の拡大に対応するべく積極的に設備投資を実施。

株価の推移

(韓国ウォン)



組入比率：3.6%

銘柄

TEコネクティビティ

国・地域

スイス

業種

システム・部品

銘柄の概要

電子部品メーカー。自動車をはじめ、家電、航空宇宙、軍事、通信、コンピューター、消費者電子製品などの製造業を対象に製品の設計、製造、販売を手掛ける。技術電子部品、ネットワーク・ソリューション、深海通信システム、無線システムなどを提供。

投資のポイント

自動車の中核部品のひとつであるコンタクタ製品を製造しており、乗用車のみならず商用車、宇宙衛星にも同社の商品は活用されている。大容量のバッテリー、高出力のモーターが搭載される電気自動車では高圧の電流を安定して大量に流し続ける必要があり、同社の製品は様々な自動車に採用されている。

株価の推移

(米ドル)



組入比率：3.6%

銘柄

ダッソー・システムズ

国・地域

フランス

業種

テクノロジー

銘柄の概要

テクノロジー会社。顧客企業の技術革新プロセスのサポートを目的に設計したソフトウェア・アプリケーションの提供を手掛ける。設計用3Dソフトウェアの供給、3Dデジタルモックアップ(製品の設計内容を検証するためのコンピュータ内の仮想的な試作品)、商品ライフサイクル管理などの事業を展開。複数のブランド名でのソフトウェア販売も手掛ける。

投資のポイント

燃料消費の大幅な削減を可能とした3Dプリンターを活用するためのCADソフトウェアを製造。エンジン部品以外にも、燃費効率の向上を目指し、自動車のボディを3Dプリンターで作成する動きも出てきており、同社のソフトウェアは更なる活用が期待される。

株価の推移

(ユーロ)



組入比率：3.6%

銘柄

トリンブル

国・地域

アメリカ

業種

テクノロジー

銘柄の概要

計測機器メーカー。高度な位置情報ソリューションを手掛ける。GPS・レーザー・光学・慣性技術を使用する位置情報サービスにおける専門知識と、アプリケーションソフトウェア、ワイヤレス通信・サービスとを統合し、完全な業務ソリューションを提供。

投資のポイント

同社のGPSシステムは数センチ単位で位置の測位が可能となり自動車だけではなく、トラクターなどスマート農業などにも活用。将来的には鉄道の自動運転などでの高精度測位技術の活用につながる事が期待される。

株価の推移

(米ドル)



※テクノロジー業種の組入1位「インフィニオン・テクノロジー」はGRAN NEXTエネルギーで紹介しているため、業種内3位「トリンブル」を掲載しています。

(出所) ブラックロックの資料、Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

・上記は2021年4月末現在における投資対象ファンドの組入上位3業種の組入上位2銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドおよび投資対象ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

ロックによる定義に基づいています。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・オプションなどのデリバティブが組み入れられる場合には、特定の銘柄の保証するものではありません。・市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。・為替・税金・手数料等を考慮していません。

【重要事項】の内容を必ずご覧ください。

組入比率：2.2%

銘柄

ロジャース

国・地域

アメリカ

業種

原材料

銘柄の概要

特殊材料・部品メーカー。通信、コンピューター、画像、消費者、輸送業界向けに特殊材料や部品の製造を手掛ける。主な製品は、エラストマー、高性能回路材料、フレキシブル回路材料、鋳型材料、複合材料など。

投資のポイント

同社の製品は加熱するバッテリー周りでも耐えうる耐熱性クッション材や、漏電を防ぐ止水シール・パッキン材として、ハイブリッドカーや電気自動車の重要パーツに使用されている。また、同社の製造する材料は半導体でも幅広く使われており、自動運行システムやコネクティッドカーなど次世代輸送手段の実現に貢献していくと期待。

株価の推移

(米ドル)



組入比率：1.8%

銘柄

ライナス・レア・アース

国・地域

オーストラリア

業種

原材料

銘柄の概要

探鉱会社。セリウム、ネオジムなどのレアアース鉱物の探鉱、採掘を手掛ける。主にオーストラリアとマレーシアにおいて開発を行う。

投資のポイント

中国企業以外で大規模に分離・精製を手掛ける数少ない企業とされ、重要資源の供給元としての重要性が増す。米国もレアアースの輸入は中国頼みで、安定調達は喫緊の課題。2019年に米企業とともに重レアアースの分離・精製工場を米テキサス州に建設する計画を発表。その後、軽希土類の工場建設で米政府と合意したことも明らかにしている。

株価の推移

(オーストラリアドル)



ご参考：その他業種の組入上位2銘柄のご紹介

業種	銘柄	国・地域	比率
インフラ	エレメント・フリート・マネジメント	カナダ	1.8%
	マクフィー・エネルギー	フランス	0.9%
その他	リリウム	ドイツ	0.0%

(出所) ブラックロックの資料、Bloombergのデータを基に三菱UFJ国際投信作成

・上記は2021年4月末現在における投資対象ファンドの組入上位3業種の組入上位2銘柄とその他業種の組入上位2銘柄を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドおよび投資対象ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。・比率は投資対象ファンドの純資産総額に対する割合です。・業種はブラックロックの運用チームによる分類であり、変更する場合があります。・国・地域はブラックロックによる定義に基づいています。・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・オプションなどのデリバティブが組み入れられる場合には、特定の銘柄の影響度合いは組入比率の通りとは限りません。・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。・市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。・為替・税金・手数料等を考慮しておりません。

ファンドの目的・特色

◆**ファンドの目的** (GRAN NEXT エネルギー/GRAN NEXT テクノロジー/GRAN NEXT フード/GRAN NEXT ヘルスサイエンス/GRAN NEXT モビリティ)
日本を含む世界各国(新興国を含みます。以下同じ。)の株式等を実質的な主要投資対象とし、主として中長期的な値上がり益の獲得をめざします。

◆ファンドの特色1.

GRAN NEXT エネルギー

主として日本を含む世界各国の持続可能なエネルギー関連企業の株式等(DR(預託証券)を含みます。)に投資を行います。

- ・ 持続可能なエネルギー関連企業とは、再生可能エネルギー技術・開発、代替燃料、エネルギー効率化、エネルギー貯蔵、エネルギー・インフラを含めた、代替エネルギーおよびエネルギー技術の分野で経済活動を行う企業。
- ・ 石炭・消耗燃料、石油・ガス探査・開発、総合石油・ガスのセクターに分類される企業には投資を行いません。

GRAN NEXT テクノロジー

主として日本を含む世界各国のテクノロジー関連企業の株式等(DR(預託証券)を含みます。)に投資を行います。

GRAN NEXT フード

主として日本を含む世界各国の食品・農業関連企業の株式等(DR(預託証券)を含みます。)に投資を行います。

- ・ 食品・農業関連企業とは、包装、加工、流通、技術、食品関連・農業関連サービス、種子、農業・食品添加物、食品生産の分野で経済活動を行う企業。

GRAN NEXT ヘルスサイエンス

主として日本を含む世界各国のヘルスサイエンス関連企業の株式等(DR(預託証券)を含みます。)に投資を行います。

- ・ ヘルスサイエンス関連企業とは、医療、医薬品、医療機器・用品、バイオテクノロジー開発の分野で経済活動を行う企業。

GRAN NEXT モビリティ

主として日本を含む世界各国の輸送関連企業の株式等(DR(預託証券)を含みます。)に投資を行います。

- ・ 輸送関連企業とは、輸送に使用・適用されるテクノロジーの研究、開発、テクノロジーを利用した製品・サービスの製造、販売の分野で経済活動を行う企業。
- ・ 投資先外国投資法人では、自動車の電化や自律化、コネクティッドカーへの移行から利益を得る企業に着目し、原材料(資源やバッテリー資源等)、部品やコンピュータ・システム(バッテリーやケーブル等)、テクノロジー(自動車センサー技術等)、インフラ(電気自動車の充電スポット等)等の経済活動を行う企業の株式等を選定します。主に先進国の企業の株式等に投資を行います。新興国にも投資を行います。

・ DR(預託証券)とは、ある国の企業の株式を当該国外の市場で流通させるため、現地法に従い発行した代替証券です。株式と同様に金融商品取引所等で取引されます。

※ ファンド*1は、外国投資法人である投資対象ファンド*2の投資信託証券(クラスI2・円建て(GRAN NEXT エネルギーはX2・円建て))を主要投資対象とします。また、マネー・マザーファンドへの投資も行います。

*1: ファンド	*2: 投資対象ファンド
GRAN NEXT エネルギー	ブラックロック・グローバル・ファンズ・サステナブル・エナジー・ファンド
GRAN NEXT テクノロジー	ブラックロック・グローバル・ファンズ・ワールド・テクノロジー・ファンド
GRAN NEXT フード	ブラックロック・グローバル・ファンズ・ニュートリション・ファンド
GRAN NEXT ヘルスサイエンス	ブラックロック・グローバル・ファンズ・ワールド・ヘルスサイエンス・ファンド
GRAN NEXT モビリティ	ブラックロック・グローバル・ファンズ・フューチャー・オブ・トランスポート・ファンド

「GRAN NEXT」を構成する各ファンド間でスイッチングが可能です。

「GRAN NEXT」は、「GRAN NEXT エネルギー」、「GRAN NEXT テクノロジー」、「GRAN NEXT フード」、「GRAN NEXT ヘルスサイエンス」、「GRAN NEXT モビリティ」、「GRAN NEXT マネー・プールファンド」の6ファンドで構成されています。

スイッチングを行う場合の購入時手数料はかかりません。なお、スイッチングにより換金をする場合は、換金代金の利益に対して税金がかかります。くわしくは販売会社にご確認ください。

2. 各投資先外国投資法人の運用は、ブラックロックグループの投資顧問会社*3が行います。

- ・ ブラックロックグループは1988年に設立され、世界30か国以上に拠点を有する独立系の資産運用会社グループです。
- ・ 同グループは世界に2,000名を超える運用のプロフェッショナルを有し、世界最大級の資産運用残高約824兆円を誇ります。(2020年9月末時点、為替レートは1米ドル=105.53円)
- ・ 各投資先外国投資法人を運用する株式チームは、充実した調査体制を有しており、同グループのリソースを最大限に活用します。

*3 ブラックロックグループの投資顧問会社は、ブラックロック・ファイナンシャル・マネジメント・インク[米国]、ブラックロック・インベストメント・マネジメント・LLC[米国]、ブラックロック・インベストメント・マネジメント(UK)リミテッド[イギリス]、ブラックロック(シンガポール)リミテッド[シンガポール]のことをいいます。

*3 投資顧問会社は、運用の指図権限をさらにブラックロックグループの他の会社に委託する場合があります。(出所)ブラックロックの資料を基に三菱UFJ国際投信作成

3. 原則として、為替ヘッジを行いません。

- ・ 実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行わないため、為替相場の変動による影響を受けず。

4. 年1回の決算時(1月19日(休業日の場合は翌営業日))に分配金額を決定します。

- ・ 分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。(基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。)

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

(初回決算日は、2022年1月19日です。)

GRAN NEXT マネー・プールファンド

◆ファンドの目的

わが国の公社債等を実質的な主要投資対象とし、主として安定した利子収益の確保をめざします。

◆ファンドの特色

1. わが国の短期公社債等を中心に投資し、主として安定した利子等収益の確保を図ります。

※ 実際の運用はマネー・マザーファンド受益証券を通じて行います。

2. 年1回の決算時(1月19日(休業日の場合は翌営業日))に分配金額を決定します。

- ・ 分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。(基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。)

将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

(初回決算日は、2022年1月19日です。)

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

投資リスク・ご注意事項等

■ 基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

GRAN NEXT エネルギー/GRAN NEXT テクノロジー/GRAN NEXT フード/ GRAN NEXT ヘルスサイエンス/GRAN NEXT モビリティ

価格変動リスク

主要投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、実質的に組み入れる株式の価格変動の影響を受けます。株式の価格は、株式市場全体の動向のほか、発行企業の業績や業績に対する市場の見通しなどの影響を受けて変動します。組入株式の価格の下落は、基準価額の下落要因となります。

特定のテーマに沿った銘柄に投資するリスク

ファンドは、特定のテーマに沿った銘柄に投資するため、株式市場全体の動きとファンドの基準価額の動きが大きく異なる場合があります。また、より幅広い銘柄に分散投資する場合と比べてファンドの基準価額が大きく変動する場合があります。

為替変動リスク

主要投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、実質的に外貨建資産に投資を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受けます。

信用リスク

株式の発行企業の経営、財務状況が悪化したり、市場においてその懸念が高まった場合には、株式の価格が下落すること、配当金が減額あるいは支払いが停止されること、倒産等によりその価値がなくなること等があります。

流動性リスク

株式を売却しようとする際に、その株式の取引量が十分でない場合や規制等により取引が制限されている場合には、売買が成立しなかったり、十分な数量の売買が出来なかったり、ファンドの売買自体によって市場価格が動き、結果として不利な価格での取引となる場合があります。

カントリー・リスク

ファンドは、新興国の株式に実質的な投資を行うことがあります。新興国への投資は、投資対象国におけるクーデターや重大な政治体制の変更、資産凍結を含む重大な規制の導入、政府のデフォルト等の発生による影響などを受けることにより、先進国への投資を行う場合に比べて、為替変動・価格変動・信用・流動性のリスクが大きくなる可能性があります。

GRAN NEXT マネープールファンド

価格変動リスク

一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

上記は主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。

■その他の留意点

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
 - 収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがあった場合も同様です。収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。
- 【GRAN NEXT マネープールファンド】
- ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響する場合があります。
 - 投資環境によっては、マイナス利回りの公社債や金融商品等での運用となることがあり、この場合、基準価額の下落要因となります。

■リスクの管理体制

ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。また、定期的に開催されるリスク管理に関する会議体等において、それらの状況の報告を行うほか、必要に応じて改善策を審議しています。

【GRAN NEXT マネープールファンドを除く各ファンド】投資対象ファンド(国内投資信託を除く)の信用リスク管理方法
投資対象ファンドの管理会社および投資運用会社は、投資対象ファンドにおいて、欧州委員会が制定した指令(UCITS指令)に定めるリスク管理方法に基づき信用リスクを管理します。
投資対象ファンドの管理会社は、ブラックロック(ルクセンブルク)エス・エー[ルクセンブルク]で、投資顧問会社(投資運用会社)はブラックロック・ファイナンシャル・マネジメント・インク[米国]、ブラックロック・インベストメント・マネジメント LLC[米国]、ブラックロック・インベストメント・マネジメント(UK)リミテッド[イギリス]、ブラックロック(シンガポール)リミテッド[シンガポール]のことをいいます。

お申込みメモ

ご購入の際は、投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

お申込みメモ

購入時	購入単位 販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。
	購入価額 購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
	換金単位 販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。
換金時	換金価額 換金申込受付日の翌営業日の基準価額
	換金代金 原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目にお支払いします。
	申込不可日 【GRAN NEXT マネープールファンドを除く各ファンド】 次のいずれかに該当する日には、購入・換金はできません。 ・ルクセンブルクの銀行の休業日、12月24日、投資対象とする外国投資法人の投資信託証券の申込受付停止日 【GRAN NEXT マネープールファンド】 ありません。
申込について	申込締切時間 原則として、午後3時までに受付けたものを当日の申込分とします。
	換金制限 ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
	購入・換金申込受付の中止および取消し 【GRAN NEXT マネープールファンドを除く各ファンド】 金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情(投資対象証券の取得・換金の制限、投資対象国・地域における非常事態(金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等)による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等)があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。また、信託金の限度額に達しない場合でも、各ファンドの運用規模・運用効率等を勘案し、市況動向や資金流入の動向等に応じて、購入のお申込みの受付を中止することがあります。 【GRAN NEXT マネープールファンド】 金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。また、信託金の限度額に達しない場合でも、ファンドの運用規模・運用効率等を勘案し、市況動向や資金流入の動向等に応じて、購入のお申込みの受付を中止することがあります。
	信託期間 2031年1月17日まで(2021年1月19日設定)
その他	繰上償還 各ファンドの受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合、またはGRAN NEXTを構成する各ファンドの受益権の総口数の合計が50億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。 【GRAN NEXT マネープールファンドを除く各ファンド】 各ファンドが主要投資対象とする外国投資証券が存続しないこととなった場合には繰上償還となります。 【GRAN NEXT マネープールファンド】 ファンドのスイッチング対象となるファンドがすべて償還することとなった場合には繰上償還となります。
	決算日 毎年1月19日(休業日の場合は翌営業日) ※初回決算日は2022年1月19日
	収益分配 年1回の決算時に分配金額を決定します。(分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。) 収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少および基準価額の下落要因となります。 収益分配金は税金を差引いた後、原則として再投資されます。 ※分配金を再投資せず、お客さまの指定口座にご入金するお取扱いを希望される場合は、分配金出金(定期引出契約)をお申込みください。
	課税関係 課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人投資者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。 NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。
その他	スイッチング GRAN NEXTを構成するファンド間でのスイッチングが可能です。販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングの取扱いを行わない場合があります。スイッチングを行う場合の購入時手数料は、販売会社が定めています。なお、スイッチングにより換金をする場合は、換金代金の利益に対して税金がかかります。くわしくは販売会社にご確認ください。

ファンドの費用

ファンドの費用

◎お客さまが直接的に負担する費用

購入時	購入時手数料	購入価額に対して、 上限3.30% (税抜 3.00%) (販売会社が定めます) (購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)
換金時	信託財産留保額	ありません。

◎お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

保有期間中	運用管理費用 (信託報酬)	【GRAN NEXT エネルギー】 日々の純資産総額に対して、年率1.881% (税抜 年率1.710%)をかけた額 ・投資対象とする外国投資信託証券の投資顧問会社報酬:委託会社が受ける報酬から、当該外国投資信託証券のファンド組入額の年率0.68%以内が支払われます。 【GRAN NEXT フード】 【GRAN NEXT モビリティ】 ■当該ファンド:日々の純資産総額に対して、年率1.133% (税抜 年率1.030%)をかけた額 ■投資対象とする投資信託証券:投資対象ファンドの純資産総額に対して年率0.68%(マネー・マザーファンドは除きます。) ■実質的な負担:ファンドの純資産総額に対して年率1.813%程度 (税抜 年率1.710%程度) ※投資対象とする投資信託証券の信託(管理)報酬率を合わせた実質的な信託報酬率です。 【GRAN NEXT テクノロジー】 【GRAN NEXT ヘルスサイエンス】 ■当該ファンド:日々の純資産総額に対して、年率1.133% (税抜 年率1.030%)をかけた額 ■投資対象とする投資信託証券:投資対象ファンドの純資産総額に対して年率0.75%(マネー・マザーファンドは除きます。) ■実質的な負担:ファンドの純資産総額に対して年率1.883%程度 (税抜 年率1.780%程度) ※投資対象とする投資信託証券の信託(管理)報酬率を合わせた実質的な信託報酬率です。 ※投資対象とする外国投資信託証券では、保管報酬および事務処理に要する諸費用が別途投資対象ファンドから支払われます。 また、投資対象とする外国投資信託証券で有価証券の貸付を行った場合、その収益の一部がブラックロックグループの会社へ支払われます。投資対象とする外国投資信託証券においては、実質的な保管報酬および事務処理に要する諸費用は事前に把握ができないため表示しておりません。 【GRAN NEXT マネープールファンド】 日々の純資産総額に対して、年率0.605% (税抜 年率0.550%)以内をかけた額
	その他の費用・手数料	以下の費用・手数料についてもファンドが負担します。 監査法人に支払われるファンドの監査費用/有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料/投資対象とする投資信託証券における諸費用および税金等(GRAN NEXT マネープールファンドを除く各ファンド)/有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用/その他信託事務の処理にかかる諸費用 等 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎計算期間の6ヵ月終了時、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJ国際投信株式会社

お客さま専用フリーダイヤル

0120-151034

(受付時間/営業日の9:00~17:00)

●ホームページアドレス <https://www.am.mufg.jp/>

受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

三菱UFJ信託銀行株式会社

販売会社(購入・換金の取扱い等)

販売会社は、左記の三菱UFJ国際投信の照会先でご確認いただけます。

本資料に関してご留意いただきたい事項

- 本資料は三菱UFJ国際投信が作成した情報提供資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ず確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。
- 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

販売会社情報一覧表 投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は下記の販売会社まで

2021年06月30日時点

商号	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
株式会社三菱UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○



三菱UFJ 国際投信